

福井藩と豪商

— 時代を彩った豪商たち —

- 会場 企画展示室
- 会期 平成18年9月30日(土)～11月5日(日)
但し、10月16日(月)は休館します。

江戸時代、三都をはじめ全国各地の城下町や港町には多くの豪商が出現しました。当展では特に福井藩と関わりの深かった、福井城下や三国湊、加賀藩、大坂など各地域を代表する豪商を7家取り上げて紹介します。

序章 福井藩と関わった豪商たち

江戸時代は全国各地に多くの豪商たちが出現した時代です。福井藩と深い関わりを持った豪商や藩財政との関わりを明らかにします。

第一章 福井城下の豪商 (金屋家・駒屋家)

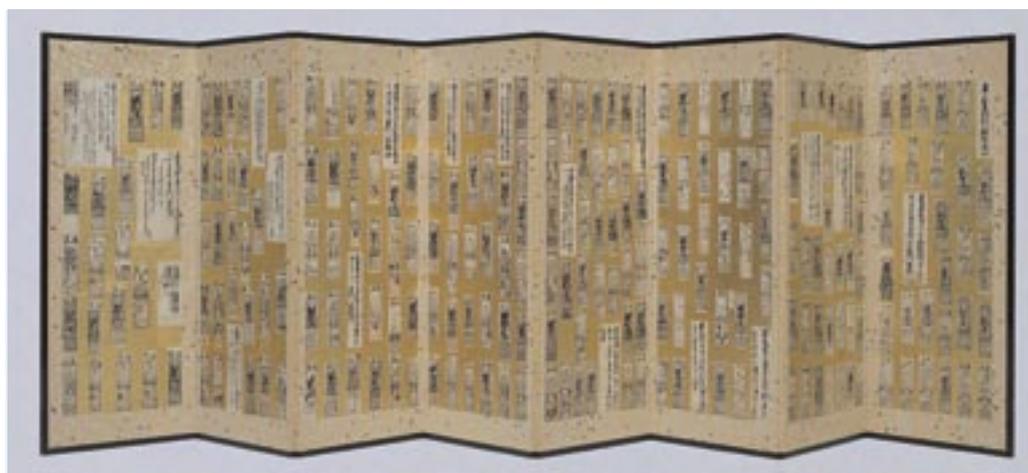
江戸初期より福井(北庄)城下で活躍していた豪商として金屋家と駒屋家が知られています。金屋家は江戸前期に鉄商売と金融業で巨富を築き、最初の福井藩札の発行に関わったことで有名です。一方、駒屋家も両替商などを営みながら、幕末まで藩札の流通に深く関わり続けました。

第二章 外港三国湊の豪商 (内田家・三国家)

江戸後期になると全国的な商品流通の発展により福井城下の外港三国湊も繁栄し、廻船業などを営む商人たちが活躍するようになります。福井藩を代表する豪商に成長した内田家と三国家は度々藩へ多額の御用金を納めました。また、三国家出身の儒者三国大学(幽眠)は、橋本左内の活動を政治的に支援し、安政の大獄で処罰されたことが知られています。

第三章 藩領外の豪商 (木谷家・鴻池家・矢嶋家)

福井藩は領内ばかりでなく領外の豪商たちへも知行や扶持を与え、経済的・政治的に深く結びついてきました。その代表格として加賀藩を代表する豪商木谷(木屋)家と大坂を代表する天下の豪商鴻池家があります。大津町の惣年寄の矢嶋家は松平春嶽に味方をしたとして、攘夷派に襲撃されました。



藩札屏風

越菜文庫 当館保管

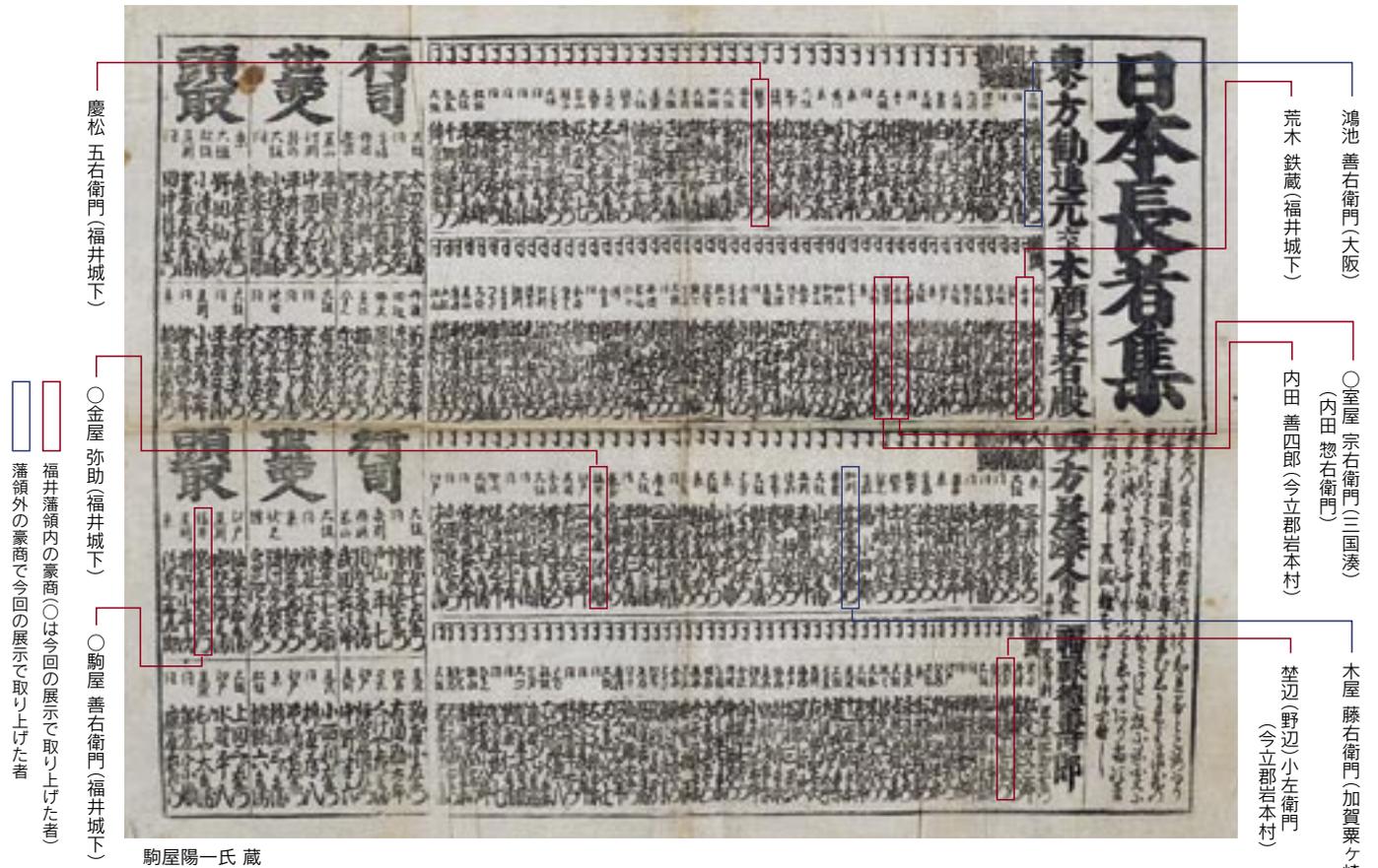


越前三国湊風景之図

みくに龍翔館蔵

クローズアップ 1 「江戸時代の長者番付」

江戸後期には全国の長者番付が作成されましたが、三都（江戸・京都・大阪）などの富豪に混じり、福井城下や三国湊など福井藩の豪商たちも番付に載りました。



駒屋陽一氏 蔵

クローズアップ 2 「金谷屏風」

金谷(屋)屏風とは福井藩を代表する豪商・金屋家が所蔵していたとされることからこの名があります。もとは12枚の絵を貼り付けた屏風でした。金屋家が初代藩主結城秀康の三男・直政(松

江藩主)を養育したことへの謝礼として贈られたといえます。福井で活躍した江戸時代を代表する絵師・岩佐又兵衛が制作しました。



あずきゆみ 祥弓図
国(文化庁)保管



ろうぎよくせん 弄玉仙図
摘水軒記念文化振興財団蔵

クローズアップ 3 「福井藩札」

藩札は江戸時代に諸藩が発行した紙幣で、寛文元年（1661）に福井藩が最初に発行したとされてきましたが、最近では、福山藩が寛永七年（1630）に発行したとの説も出されています。

ここでは福井藩の銀札、寛文二年（1662）札と元治札（1865年

より通用）を取り上げて、その表面と裏面について説明を加えました。表面には墨書された額面（銀〇匁）や札元の慶松と金屋、荒木と駒屋の家名、裏面には七福神・竜・麒麟・鶴・亀・孔雀などの絵柄が刷られています。



駒屋吉宏氏蔵（寛文二年札・元治札）



クローズアップ 4 「世界図・日本図屏風」

現在、福井市内の浄得寺に伝わる世界地図、日本地図を描いた屏風。浄得寺は三国の豪商・内田家の菩提寺で、この屏風は内田家から浄得寺へ寄進したものと伝えられています。世界図にはポルトガル、スペインから世界各地への航路が表され、その東の終

着点に日本が描かれています。日本図には現在の函館から五島列島まで表されています。九州・名護屋から朝鮮半島への航路が赤線で書かれていて、豊臣秀吉の朝鮮出兵（文禄の役）の影響があると考えられます。



世界図屏風



日本図屏風

出品目録

No指定	資料(作品)名	員数	法量	所蔵(備考)
序章 福井藩と関わった豪商たち				
1	日本持丸長者集(天平子鶏肋集)	一帖	47.8×34.8	大阪商業大学商業史博物館蔵
2	日本長者集	一枚	35.8×47.8	駒屋陽一氏蔵
3	齊承公御代給帳	一冊	24.0×16.8	福井県立図書館保管
4	給帳(嘉永五年)	一帖	20.3×16.2	松平文庫 福井県立図書館保管
5	借財書付(弘化元年)	一綴	26.0×16.5	松平文庫 福井県立図書館保管
6	弘化三年春御借財残元	一枚	15.0×79.0	松平文庫 福井県立図書館保管
第一章 福井城下の豪商(金屋家・駒屋家)				
金屋家				
7	金屋氏履歴	一冊	23.7×16.3	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
8	松平直政御内書	一通	20.0×54.5	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
9	〇梓弓図	一幅	130.7×54.2	国(文化庁)保管 (岩佐又兵衛筆)
10	〇弄玉仙図	一幅	131.5×56.0	摘水軒記念文化振興財団蔵 (岩佐又兵衛筆)
11	金屋吉広肖像画	一幅	46.5×22.4	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
12	片口七兵衛銀子請取状(寛文十二年)	一通	31.2×23.9	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
13	金屋記録	一冊	25.5×16.5	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
14	金屋氏家譜	一冊	27.6×18.8	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
15	木彫大黒天像	一点	10.0×9.2 高12.5	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
16	福井藩銀子借用証文(延宝五年)	一通	42.0×55.5	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
17	家譜 六 光通公	一冊	29.0×20.5	越葵文庫 当館保管
18	福井藩札(寛文二年)	一枚	14.6×4.1	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
19	福井藩札(元禄期)	一枚	15.1×4.4	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
20	松平光通朱印状(寛文十二年)	一通	47.6×65.2	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
21	賀茂山内朱印地絵図(延宝元年)	一卷	38.0×96.0	金屋吉宏氏蔵 当館寄託
駒屋家				
22	福井城下眺望図	一卷	54.4×112.0	福井市春嶽公記念文庫 当館蔵
23	引札「めくすり」	一枚	70.4×16.7	駒屋陽一氏蔵
24	福井県下商工便覧(明治二十二年)	一冊	8.0×17.5	当館蔵
25	大日本国橋見立相撲	一枚	34.0×45.4	駒屋陽一氏蔵
26	福井藩十二ヶ月年中行事絵巻(三月)	九十九橋桃花の図 一卷	25.5×386.4	福井市春嶽公記念文庫 当館蔵
27	家譜 十七 吉品公	一冊	29.0×20.5	越葵文庫 当館保管
28	福井藩札(寛文期)	一枚	15.7×4.5	駒屋陽一氏蔵
29	札所覚書(天保九年)	一綴	19.2×14.6	駒屋陽一氏蔵
30	家譜 二十二 吉品公	一冊	29.0×20.5	越葵文庫 当館保管
31	給帳(慶応二年)	一帖	15.0×24.3	松平文庫 福井県立図書館保管
32	藩札屏風	八曲一雙 (各)	118.0×360.0	越葵文庫 当館保管
第二章 外港三国湊の豪商(内田家・三国家)				
内田家				
33	五代内田惣右衛門(曾平)肖像画	一幅	72.5×27.0	内田璞氏蔵
34	六代内田惣右衛門(石松)肖像画	一幅	100.0×36.0	内田璞氏蔵
35	川端通絵図(文久元年)	一卷	30.7×773.0	みくに龍翔館蔵

No指定	資料(作品)名	員数	法量	所蔵(備考)
36	越前三国湊風景之図(慶応元年)	一卷	26.9×331.8	みくに龍翔館蔵
37	凶年記録(天保期)	一綴	24.8×16.0	内田璞氏蔵
38	内田庸和歌短冊	一枚	36.2×6.0	福井市春嶽公記念文庫
39	通所永代経(明治九年)	一綴	25.2×17.2	内田璞氏蔵
40	◎世界図・日本図屏風	六曲一雙 (各)	163.8×379.6	浄得寺蔵
41	勤書(文政十二年)	一綴	15.4×49.8	内田璞氏蔵
42	内田惣右衛門内達書之写(弘化三年)	一綴	25.6×16.0	松平文庫 福井県立図書館保管
43	御用書(天保六年)	一通	15.8×30.6	内田璞氏蔵
44	拝賜記	一綴	14.0×37.5	内田璞氏蔵
45	記内田氏拝賜事(文政十年)	一卷	29.0×169.5	内田璞氏蔵
46	記内田氏拝賜事(文政十年)	一綴	25.2×16.6	内田璞氏蔵
47	家法録(文久三年)	一綴	24.2×17.8	内田璞氏蔵
三国家と三国家大学				
48	福井藩金子借用証文(文政六年)	一通	29.9×39.5	藏本浩二氏蔵
49	福井藩金子借用証文(文政六年)	一通	29.9×39.5	藏本浩二氏蔵
50	三国幽眠夫妻肖像画	一幅	50.6×68.6	みくに龍翔館蔵
51	御国在方	一冊	25.7×17.0	松平文庫 福井県立図書館保管
52	梅花山鶏模様蒔絵見台	一基	台面32.0×45.5 高37.3	個人蔵 当館寄託
53	橋本左内宛三国家大学書状(安政五年)	一卷	24.0×31.6	福井市春嶽公記念文庫
54	笑草	一冊	22.5×15.4	当館蔵
55	笑草(明治二十九年)	一冊	18.6×12.7	当館蔵
第三章 藩領外の豪商(木谷家・鴻池家・矢嶋家)				
木谷家				
56	□持船関係綴(天保十年)	一綴	25.5×18.4	内灘町蔵
57	□一万五千両調達に付上納請書(天保七年)	一通	15.7×90.8	内灘町蔵
58	□山形新右衛門指出依頼の丑年迄年割一万五千両調達承知に付札状	一通	20.3×126.5	内灘町蔵
59	□江戸大地震にて上屋敷等罹災に付三千両臨時調達依頼(安政二年)	一通	16.0×168.4	内灘町蔵
60	□七千両調達に付金繰上げ依頼(文久二年)	一通	16.0×117.4	内灘町蔵
61	□路用調達に付米手形四千俵受取書(寛政四年)	一通	23.3×24.8	内灘町蔵
62	□代替に付知行・扶持安堵申渡状(嘉永六年)	一通	16.1×86.0	内灘町蔵
63	□年始祝詞并鴨・朱印和紙送るに付案内	一通	16.0×45.0	内灘町蔵
64	□鴨・朱印和紙贈与目録	一通	15.8×24.3	内灘町蔵
65	□藩主任官一字拝領等案内(安政五年)	一通	15.8×65.2	内灘町蔵
66	□御本丸御目見得に付登城申渡	一通	16.0×67.4	内灘町蔵
鴻池家				
67	浪花持丸長者鑑(天平子鶏肋第二集)	一帖	35.0×48.0	大阪商業大学商業史博物館蔵
68	五代宗益作 黒楽茶碗 銘「小がらす」	一口		鴻池合資会社資料室蔵
69	赤綸子地几帳文繻紋振袖	一領		大阪歴史博物館蔵 (鴻池家旧蔵)
70	越州一件之控(明和七年)・越州掛合控(巻〜六)	七冊		大阪大学経済学部経済史経史資料室蔵
71	御本丸外廿ヶ所	一冊	29.5×19.0	松平文庫 福井県立図書館保管
矢嶋家				
72	大津町覚	一綴	24.3×16.7	大津市歴史博物館蔵
73	大津宿制札場張紙写	一枚	15.5×38.5	大津市歴史博物館蔵
74	上京日記・滯京日紙 第一号	一冊	8.4×19.0	福井市春嶽公記念文庫

◎重要文化財 ○重要美術品 □石川県指定有形文化財

会期中に一部展示替えをおこないます。

《関連展示》

「江戸時代のお金」
会場 当館講堂

《見どころ講座》

10月14日(土) 午後2時より
「江戸時代の商業と貨幣 - 鴻池屋の場合 -」
講師:小田 忠氏 (大阪商業大学商業史博物館)
「福井藩と豪商」 講師:印牧信明 (当館学芸員)

『展示解説シート No.22』平成18年9月29日発行
福井市立郷土歴史博物館
福井市宝永3-12-1 電話 0776-21-0489
F ax 0776-21-1489
担当:印牧 信明・齋藤 千穂 制作/吉田錦文堂